

福竜丸だより

— 都立・第五福竜丸展示館ニュース —

(財) 第五福竜丸平和協会

〒136 東京都江東区夢の島3-2
都立・第五福竜丸展示館内
電話 (521) 8494

●100万人参観者運動を!

'81年11月来館者数	8,275名
通算1カ月平均来館者数	3,907名
当月1日平均来館者数	331名
通算来館者数	253,959名



主張
キニニ事件を知る集い、八月のひばくしゃ追悼集会、九月の九・二三記念集会・俳句会、スケッチ大会・十月の俳句展、スケッチ

この一年の成果
この一年の成果として、展示館開設五周年であり、平和協会創立七周年というところで、盛り沢山の行事が行われ、華かな一年でした。

まず、一月の新春風あげ大会、第14回ビキニ事件を知る集い、二月の船体補修協議懇談会、ビキニ事件記念の夕べ、ビキニ事件記念写真展、三月の第15回ビキニ事件を知る集い、五月の拡大評議員会、第16回ビキニ事件を知る集い、六月の展示館開設五周年祝賀会、七月の第17回ビキニ事件を知る集い、八月のひばくしゃ追悼集会、九月の九・二三記念集会・俳句会、スケッチ大会、十月の俳句展、スケッチ

この一年の成果と残されたひとつの問題——資料室開設募金

チ展・第18回ビキニ事件を知る集い、十二月の平和協会創立七周年記念講演と映画の夕べとなつていきます。

目立った出版事業
こうした行事の間を縫って三月には第五福竜丸保存運動史(白石書店)五月には第五福竜丸管理レポート第五集、九月には「船を見つめた瞳」(同時代社)を発行していますが、月刊「福竜丸だより」の発行とともに、十二月には「平和協会ニュース」11号も発行されています。

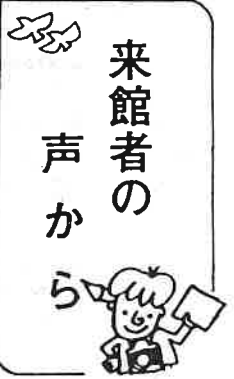
とくに「船を見つめた瞳」は展示館への来観者が書きのこした感想録をまとめたものでしたが、それは展示館がどれほど強い感銘を来館者に与えているかを示し、展示館の平和教育上の役割を立証している点で注目すべき出版でした。

残された問題
この一年の以上のごとき成果とともに、果されなかった一つの問題は、資料館開設のための募金です。

それは七五〇万円を目ざしながら二〇〇万円にも及ばなかった結果となつていきます。それが何によつていのか、募金技術の問題なのか、資料室そのものに対する関心の低さなのか、いま早急に回答を与えることはむづかしいようですが、根本的に想を練り直すことが必要であると思います。

何れにせよ、協会は新しい夢を抱き乍ら、一九八二年を迎えることとなりますので、みなさまのご協力を祈ります。

資料室募金状況 (十一月末現在)
総額 一、〇九七、一一〇円
氏名(前号報告以降)
松山義夫、世田谷いしずえ会、細井友晋、壬生照順、宮地美代、佐々木咲子、斎藤鶴子、古沢大穂氏他新俳句人の多数、展示館内常設基金箱より。



来館者の声から
私は第五福竜丸をはじめて見ました。そしていろいろなことを知りました。げんばくは、なんにもかんけいのない人まで死なせました。それもとてもごくごくこころしいきました。「世界のかくへいきのりょうとおそろしさ」のところを見て思いました。そこには、ちきゅうぜんたいの人々を十回もこころせるかきました。本でいろいろ読んで

この頃、核兵器・核戦争について興味をもち、ここにやってきました。本でいろいろ読んで

多数のみなさんの御参加を 第10回・新春風あげ大会

- ・82年1月15日(成人の日) 午前11時
- ・第五福竜丸展示館前広場
- ・参加自由

恒例の風上げ大会も十回目。82年新春、平和を願って、夢の島でのびのびと雄大に風を大空にあげましょう。

第五福竜丸平和協会主催/後援・東京都 (風持参下さい)

はいましたが、船、そしてまわりの展示品をみて更にその恐ろしさを痛感しました。船や遺品からは、まるで今も放射線がでてくるような恐怖を感じました。

念願の福竜丸に会え、そして立派に保存されていることを知り、うれしく思った。今年は九月二十三日の久保山さんの命日の焼津浜当日の墓前集いに参加したし、第五福竜丸について多くのことを新たに知ることができ良かった。最も印象的だったのはビキニ環礁近くで死の灰をあびた時の「航海日誌」であった。保存して下さった方々に感謝し、今後一層核の運動を強めましょう。 静岡・有元利通

私は、この船を見てずいぶん大きいなあと思います。後の大きなプロペラです。でも、もう今は、おじいさんになって休んでいることでしょう。

中島さなえ (H)

編集後記

▽アメリカのレーガン大統領が欧州の戦域核の縮小などの提案を行いました。最初、批判的だったソ連のブレジネフ書記長がこれに必ずしも賛成をこたえ、これは一歩前進だと思えます。

由来、軍縮とくに核軍縮については、悲劇的な側面ばかりが強く出されて、明るい展望がみられなかったのは、なぜだったのでしょうか。米ソのように持てる国同士の話合いに終始しているせいでしょうか。

▽それにしても、核軍縮の展望がひらけないからと、核シェルター(退避壕)を作り、それを金儲けの手段にしているのは、何とも腹の立つことです。

▽人類みな殺しの核戦争がおき自分たちだけは小人数でも生き残り、シェルターを出てみたら地球はズタズタで、文明の破片もなかったという現実、どうやって生き永らえるのでしょうか。恐ろしいことです。

中島さなえ (H)

明るくにぎやかに“講演と映画の夕べ”

第五福竜丸平和協会創立7周年を祝う



第一回シーサイド・マラソンの模様。(平和協会特別作成の看板) 全員完走の顔を走る参加者。



黒川万千代さん 記念講演

十二月三日、タリアはじめヨーロッパの燃えあがるような「ノー・ユーロシマ」の熱気に直接ふれた状況をスライドで説明され、日本の原水爆禁止運動の在り方などにもふれ、感動的なお話をされた。

また、特別上映のドキュメンタリー「廃船」は、一九六九年NHKが製作した長編の記録フィルム。当日は約半分の上映で

都民とともにある展示館

一日に九校の団体見学も

参観団体の予約を記入する展示館受付横のカレンダーの十一月・十二月は予定でびっしり。追加の用紙がはられるほどです。

十一月二十日には、大田・墨田・板橋・世田谷・江戸川・江東・東大和市・小平市・武蔵村山市の小学校九校から千二百余名の子どもたちが、二十六日、二十七日には連続して七校の小学生在見学し、昨年よりぐっと多い見学にうれしい悲鳴があがりました。また、新聞労連がひ

したが、廃船「はやぶさ丸」が解体業者の手から手にわたっていく状況、エンジンの行方、などが実に克明に追跡され、バツクに流れる「しゃれこうべと大砲」の美しい旋律もあって感銘を与えました。「運動の初心に触れる思いがした」とは、江東で船を守ってきた人びとや特別出席の大沢三郎未亡人の声でした。

「平和協会第46回理事会が十一月九日、神田学士会館で開かれ、七周年記念行事、資料室開設をはじめとする当面の行動方針を決めると共に、友誼団体の盛り上げる核問題にかんする諸行動への参加などを熱心に協議しました。とりわけ十月末、はじめてひらかれる「平和・軍縮教育フォーラム」の成功のために努力し、報告書・資料なども用意していくことになり、十月二十九日には広田専務理事がフォーラムに参加し発言しました。

また、資料室募金の完遂をはかるため、募金用紙の作成や大口募金の関係団体への協力要請を強めていくことなども決定し、別項のように美しい募金用紙が完成しました。

さらに、十月末日で退職した鹿田事務局長の五年以上にわたる労苦をねぎらい、対応して事務局体制の強化をはかっていくことになりました。

船にそそぐ「焼津」の漁師の瞳

11月展示替で丸木さんの「原爆の凶」

展示館のちょうど真ん中、がっしりとした第五福竜丸の船腹に對峙するかのようには、大きなパネルが飾られました。丸木位里・丸木俊さんの「原爆の凶」第九部「焼津」の複製写真で全長約四メートル、圧倒的な力量感で来観者を魅了します。海に生きた焼津の漁師・家族の無数の目がしっかりと船と見る人々

をとらえています。これは、十一月恒例の展示替の一つとして実施されたもので、丸木美術館の厚意により、写真家の森下一徹さんが心をこめてパネルにしました。八枚組の大きな図を飾る掲示板も地元・木場の大工さんが作ったラシャ張りの立派なものです。

今回の展示替は、このほか、水爆実験によるマーシャル諸島住民の被ばく状況を説明するパネル、ミクロネシアの全域図、福竜丸乗組員の放射能症状を最初に伝えた衝撃的な当時の新聞報道のパネル、力強い福竜丸のマグロ漁の写真など大小十五点、説明の写植もきれいになりました。

「原水爆資料室開設募金」を...

原水爆資料室開設募金のお願い

募金のよびかけ

一日も早く原水爆資料室の開設を

一日も早く原水爆資料室を、と美しい募金用紙ができあがりました。二色刷で、募金のよびかけのほか、こんな資料室を、の説明図もついています。

五月からはじめられた募金は、いま百万円を突破し、大口募金協力者への要請もすすんでいますが目標達成までまだまだ。年末のボーナス時期に一段と広く

訴え、早くに「資備室」の開設まで持ち込みたいものです。御協力を……

●文献・資料の提供も 平和協会にしかない福竜丸被災にかんする貴重な資料の公開はもとよりですが、広く文献・資料の収集をめざして、先日、長岡弘芳さん、服部学さん、吉村道興さんから図書・資料など寄贈を受けました。

●紹介 「俳句人」247号 81・11月 新俳句人連盟の機関紙 本号には9月23日の「久保山忌俳句会」の句作がのっています。 四百円・豊島区池袋本町一 十五・十九徳富方「連盟」へ